

# 視線誘導標・距離標取替工の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> </ul>
破損箇所撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>破損した視線誘導標、距離標をインパクトドライバー等を使用し撤去を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生材の写真を撮る。</li> </ul>
設 置	<ul style="list-style-type: none"> <li>撤去した場所と同じ場所に、新品を設置する。支柱部には、親子バンドを使用し、土工部には、スコップにて穴を掘り、視線誘導標は、250*250*450距離標は、300*300*500の基礎を使用し支柱を設置する。</li> <li>本体設置に関しては、線形を考え一般車からの視認性を考慮して取り付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土工部掘削の場合は、埋設ケーブル等に十分注意し掘削を行う。</li> </ul>
清掃・片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。</li> <li>また、土後部は、整地し土等を、綺麗に片づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>ボルトの一本まで落ちていないか確認する。</li> </ul>

作業編成(標準)	機材	資材	安全器具・保護具	
			ヘルメット	
			反射(自発光)チョッキ	
			警笛	
			保護メガネ	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 掘削時、埋設ケーブルの確認等を行うこと。
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 一人作業の禁止**